

株式会社 ハンシンデリカ

楽業偕悦 「業を楽しみ、悦びを偕する」

会社概要

- 代表者 ● 代表取締役社長 福田 力
- 本社所在地 ● 伊丹市
- 事業内容 ● サラダ、和惣菜、デザート生産
- 従業員数 ● 320名 うち障害者数10名
(身体障害者1名、知的障害者9名)
- ホームページ ● <http://hanshindelica.deria-foods.co.jp/>



障害者雇用について人事担当者にインタビュー

障害者雇用推進のきっかけ・経緯は？

当社は平成10年にキューピー株式会社の伊丹工場生産部門から独立して誕生しました。キューピーグループの一員として障害者雇用には社会貢献の一環として早くから取り組んできました。

採用はどのように？

当初は西宮市鳴尾浜にある株式会社ゆうあいサポートからの紹介で採用してきました。それに加えて、近年は阪神特別支援学校のインターンシップから採用する流れもできました。この他、こやの里特別支援学校からも実習のご相談をいただけるようになっています。特別支援学校の先生方と交流を持つようになると、他の学校を紹介していただいたり、先生方の口コミで当社のことを知り、「うちの生徒も職場体験をさせてもらえないでしょうか？」という相談をいただいたりするようになりました。

当社のインターンシップ期間は3日～1週間程度です。仕事との相性がよいことも重要ですが、現在、当社の工場は9割以上が女性です。そのため、同じ製造ラインで働く他の社員と協力して作業ができるか、といった点を確認して採用するようにしています。その後、ご家族の方との面談を

通して当社の理念や業務内容について理解を深めてもらい、再度実習期間を設けるようにしています。これはインターンシップでは仕事を体験してもらうことを目的としているため、短い時間で作業をしてもらっているからです。再度の実習期間では入社後と同じ労働時間で製造ラインに入ってもらい、問題がないか最終確認しています。

採用された方はどのような職種に就かれていますか？

当社で製造しているポテトサラダなどの惣菜製造ラインで使用する容器などの洗浄、または盛り付け作業のいずれかの工程になります。事前の実習期間を通じて仕事の相性を確認して配属しています。



インタビューに答える管理部 総務課 係長の佐井 博之さん

障害者雇用で感じたこと、今後の課題は？

難しいのは同じ製造ラインや現場で働く他の社員との意思疎通や意見調整になります。障害を持った方と他の社員との間で意見の食い違いやちょっとした誤解、周囲の期待と本人のやる気や能力との間に齟齬が出ることはあります。また、障害を持った方だけではありませんが、仕事に慣れてくると気を抜く部分が出てきたり、欲が出て新しいことをしたくなったりします。本人は仕事ができているつもりでも周囲からみたらちゃんとできていなかったり、反対に新しいことを覚えてほしいのに今の状況からなかなか前に進めなかったりして、行き違う部分が積み重なり、他の社員と仕事がしづらくなってしまふことがあります。

こうした場合、現場責任者からの報告をもとに総務課の私や学校の先生が間に入って対応します。時にはご家族にもご協力いただいて改善方法を話し合います。個々の障害特性に合わせて、どのようなことを改善してほしいか、またはどんなことに新しく挑戦してほしいか、伝え方に注意しながら話し合います。

その他の課題としては、障害を持って働く方の人数も増えてきましたので、私のような管理部門で障害者雇用に関する知識を持った人材を増やす必要があるかと思います。前任者や私の経験を踏まえて、障害者雇用を継続できるよう若い人に引き継いで行きます。

雇用管理・サポート体制などで工夫されている事は？

障害を持って働いている方の近くには「相談役」のような形で、現場の責任者か経験豊富な社員を配置するようにしています。当社の製造ラインではフロア全体で数十人から100人ほどの社員が一緒に働いていますので、仕事のことでわからないことがあったとき、「誰に相談してよいかわからない」という事態にならないように注意しています。相談役の方は他の社員と区別するためにユニフォームに黄色い目立つラインを入れています。

新しいことを覚えてもらう時も、盛り付け例や道具の使用方法について、写真を使った手順書を

もとに、現場責任者が横について教えるようにしています。どの大きさの容器に、どの種類の食材を、どんな盛り付けで入れるのか、各段階で現場責任者が確認を取りながら覚えてもらいます。

当社の惣菜ですと、季節ものやサイズ違いを含めると全部で300以上の種類があります。障害を持った方でもわかりやすいルールや間違えない工夫を考えながら、円滑に作業ができるように配慮しています。当社で働いている方は一度ルールや方法を覚えると、それに従ってきっちりと作業をしてくれる方が多いので、年々増えていく生産量に対応するための貴重な戦力として重宝しています。

勤務時間としては週40時間を基本にしていますが、体調や障害特性に合わせて一日の作業時間を短くするといった配慮をしています。当社で10年以上働いている方もいるので、今では新しく入ってきた方へ仕事を教えることもできるようになっています。

最後に、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業へのメッセージをお願いします。

当社が所属するキューピーグループの社是に「楽業偕悦」という言葉があります。同じ志を持った人たちが仕事を通して共通の目的を実現するために一致団結する。そして一緒になって喜びや楽しみを共有しようという意味があります。障害の有無にかかわらず、ともに仕事に励み、日々の業務の達成感を共有しあえる職場環境を整えてもらえればと思います。

勤務されている方へのインタビュー

いつからこの会社に勤めていますか？

ハローワークからの紹介で12年前に入社しました。

どのような仕事に従事されていますか？

段ボールの箱詰め作業から始めて、今は容器の洗浄作業をしています。週5回、8時30分から17時30分までの作業になります。時期によっては1時間早い「早番」を担当することもあります。



インタビューを受けるAさん

この会社に勤めて良かったと思う事は？

一緒に働く人たちが優しいです。私の働いている場所には3～4人の人が一緒に働いています。その中に後輩が一人いるので、私が仕事を教えてあげています。

今後の自分への課題・目標などあれば教えてください。

今は後輩がいるので、仕事をしっかりと教えてあげたいと思います。